

遠山邸大広間
端午の節句飾り
4/13(水)-5/8(日)



遠山邸 2 階
公開日



本年度の2階公開については、新型コロナウイルスの感染状況を見て判断し、ホームページでお知らせいたします。

遠山邸大広間
雛壇飾り

2/11(土・祝)-3/12(日)



2022

4/2(土)-5/29(日)

源頼朝の時代

平治物語と源平合戦

NHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」に関連し、館蔵の作品の中から重要文化財の源頼朝「消息」、土佐派の優れた作例である「源平武者絵」などを展示します。また初公開となる狩野養長「平治物語絵巻(模本)」は、バラバラにカットされた「六波羅合戦巻」を再現した鑑賞的・学術的価値の高いもので、今回は個人蔵の原本の断簡をあわせて公開いたします。これらの作品を通じ、頼朝の生きた時代を追体験してみてください。

6/11(土)-9/25(日)

コレクション展

2022年は当館創設者・遠山元一の没後50年にあたります。今回は遠山記念館のコレクションの名品に加え、橋本明治による元一の肖像画、また元一が長女貞子のために誂えた小袖類などを選んで展示いたします。

10/8日(土)-11/27(日)

特別展

江森天寿と石川梅子

夭折の画家と県内初の女流画家

埼玉県深谷市出身の日本画家江森天寿は、東京美術学校を卒業後、大正4年(1915)の文展に初入選、深い自然観照と独特の絵画表現の作画を続けますが、結核により38歳で生涯を閉じました。同郷の石川梅子は大正5年に和洋裁教育の私塾を開き、天寿と運命的に出会って、念願の本格的な日本画学習を始めます。そのような時期に2人が描いた秀作を展観いたします。

2023

12/10日(土)-1/29(日)

不思議?なるほど!

古代アンデス工芸の魅力

ペルー、ボリビアを中心として様々な文化が開花した南米アンデス地方。この地の遺跡から出土する土器や染織等には、当時の宗教観や身の回りの自然、生活の様子が生き生きと映し出されています。この展覧会では、洗練された意匠と巧みな造形力で生み出された古代工芸の魅力に迫ります。近年のご寄贈により更に充実した当館の収蔵品の中から、選りすぐりの作品をご紹介します。

2/11(土・祝)-3/12(日)

雛の世界

重要美術品「武陵桃源図絵巻」全場面一挙初公開
立雛(次郎左衛門頭)、享保雛、古今雛や久保佐四郎、永徳斎、大木平蔵といった近代の名工の雛人形などを中心に、江戸時代中期から昭和時代中期頃までの様々な種類の人形を展示し、日本の人形の歴史をたどっていきます。また桃の節句に因んで、桃の花が咲き乱れる理想郷を描いた呉春の傑作「武陵桃源図絵巻」(重要美術品)の、長さ6mにわたる全場面を今回初めて一挙公開致します。

※新型コロナウイルス等の影響により予定が変更となる場合がありますので、最新の情報は当館ホームページまたはお電話等にてご確認ください。



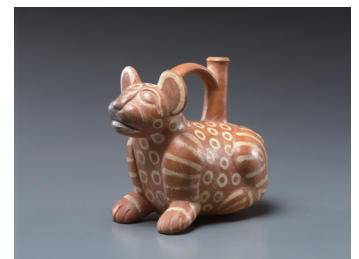
狩野養長「平治物語絵巻(模本)」



紫地藤扇模様単衣(吉田貞子旧蔵品)



江森天寿「松上群鷲」



加彩ピューマ形把手付壺



呉春「武陵桃源図絵巻」

開館時間 午前10:00 ~ 午後4:30(入館は4:00まで)

入館料 特別展 大人1,000円(800円) 学生800円(640円)

通常 大人800円(640円) 学生600円(480円)

庭園邸宅のみ 大人600円(480円) 学生400円(320円)

中学生以下は無料、()は団体料金です。

休館日 月曜日(祝祭日の場合は開館、翌日休館)

また下記の日程で休館させていただきます。

4/12(火)、5/10(火)、12/21(水) ~ 2023 1/5(木)、

2/10(金)、3/14(火)